

「西條」

令和5年度 第4号

「もっと先へ」前進する西條中生

教務主任 三國 大輔

「Plus Ultra(もっと先へ)～勝利への方程式 挑戦×絆×信念～」のテーマの下、9月2日(土)に運動会を開催いたしました。熱中症対策のため、種目の削減と競技順の変更を行い、実施しました。私たち教職員にとっても、生徒の姿から多くのことを学ぶことができました。

■先手必勝、最初が肝心

3年生は、夏休み中から準備や練習に取り組んできました。運動会当日までの練習計画を早い段階から把握し、割り当てられた場所に適した練習内容を考えるなど、先を見ながら計画を立てる姿が見られました。応援合戦については、今年度はコロナ禍以前のように、全校生徒が参加することになりました。中学生として初めて運動会を経験する1年生に対し、応援の動きを指導するのは難しいことだったようです。全学年が集う初日が肝心、事前に動きの説明等が書かれたプリントを生徒自身が作成するなど、念入りに準備を行う姿が見られました。どの団も初日から迫力のある応援練習を行うことができました。これからの社会を生きる生徒



たちには、自分たちの取組を把握し、仲間と話し合うなどして方向性を見直したり、必要な内容について考え直したりすることが求められています。生徒は一連の取組を通して、大切なことを学び得たようです。

■感謝と気遣いと憧れと

開会式の後、応援合戦を行いました。前日のリハーサルの反省を踏まえ、直前まで変更を行った団もありました。各団思い思いの演技を披露しました。競技は学年種目とリレーのみ行いました。閉会式の結果発表では感極まる生徒も。「ありがとうございます」と言いながら表彰を受ける生徒の姿が心に残っています。

閉会式の後には解団式を行いました。私たちは、この解団式を「振り返り」の場として大切にしています。3年生が1・2年生に向けて思いを語ります。感謝の気持ちが次々と語られています。

語り尽くせぬ思い。アンケート(詳細は裏面)の自由記述の一部を紹介します。

「短い期間で舞や踊りを覚えたり、声を出したりして支えてくれてありがとう」(3年生)

「私も先輩方のように、後輩に様々なことを丁寧に教えられる先輩になりたい」(2年生)

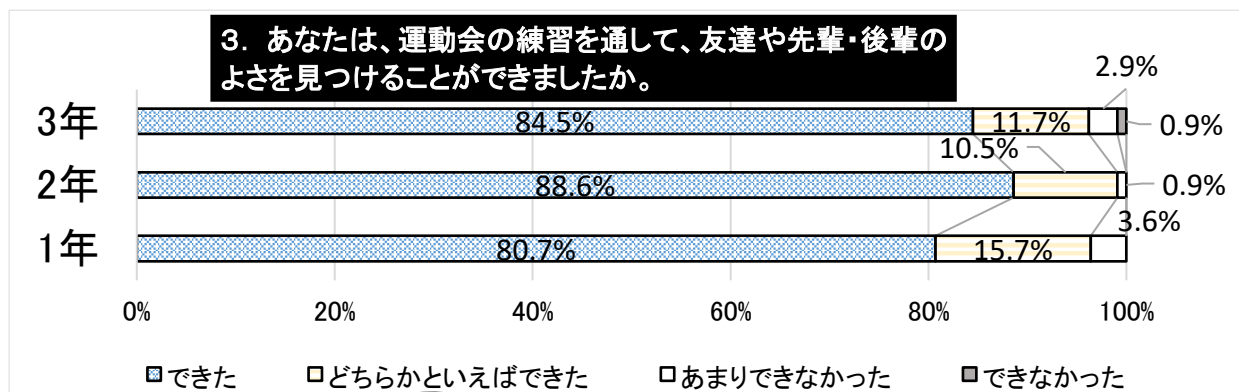
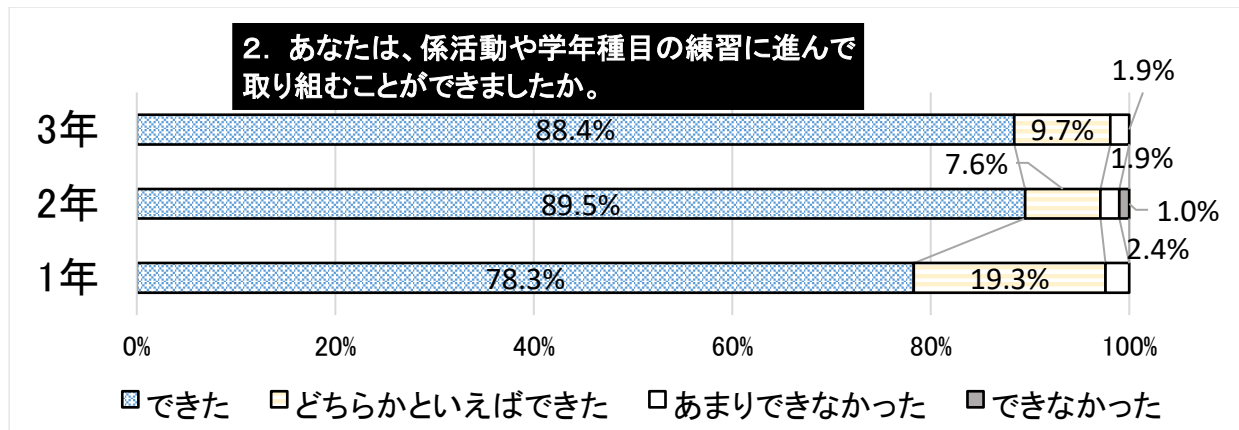
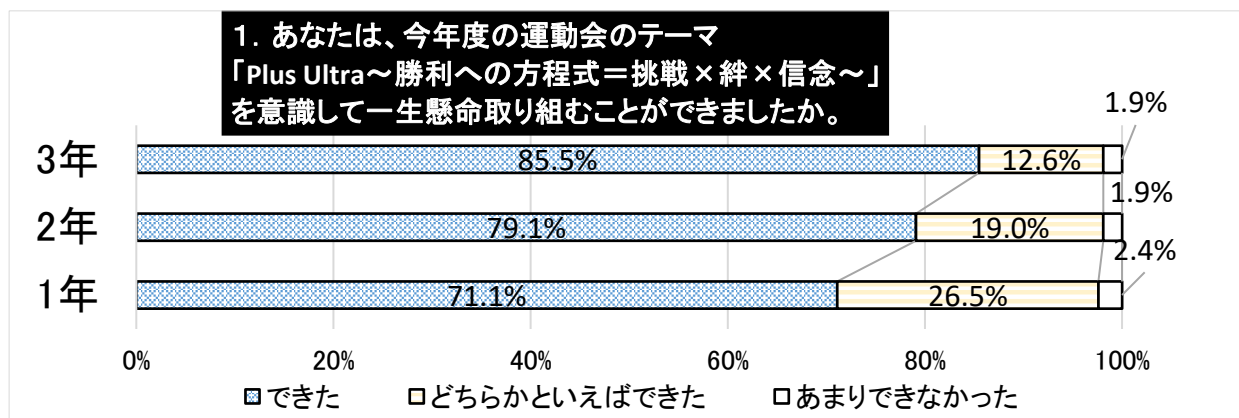
「応援を一からすべて丁寧に教えてくださいました。困っているとき、『どうした?』と聞いてくださってありがとうございました。先輩方のように後輩を気遣いできるような3年生になりたい」(1年生)

■自分たちの手で創り上げる喜びを

運動会終了後も各学級でメッセージを書き、贈り合いました。団の成長が学級の成長へとつながっています。10月21日(土)に行われる学校祭の閉祭式で全校合唱を行います。その練習を運動会の団ごとに行うことになりました。同じ団の先輩が後輩たちに合唱指導を行うのです。縁があって集った仲間たち。運動会だけのつながりで終わっていません。更なる高みを目指し、新たな一歩を踏み出そうとしています。

運動会の実施にあたり、保護者の皆様、地域の皆様には、多くのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。生徒たちが自分たちの手で創り上げる喜びを味わうために、どのように支援していけばよいか。生徒たちの取組を通して、私たち教職員はこれからも学び続けてまいります。今後ともご指導とご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

運動会アンケートの結果から



おめでとうございます

■北陸吹奏楽コンクール 中学校B部門 金賞・代表 吹奏楽部 (東日本学校吹奏楽大会出場)

■氷見市中学校強化練習会バレーボール競技 女子の部 1位

■高岡地区中学校新人大会

野球部 優勝 男子ハンドボール部 優勝 女子ハンドボール部 優勝

女子バレーボール部 優勝 男子バスケットボール部 2位 女子卓球部 3位

■剣道昇級審査 1級 3級

■令和5年度氷見市児童生徒科学作品展覧会

金賞

銀賞 科学部

銅賞

■第48回富山県青少年美術展

絵画部門 入選

デザイン部門 入選

■第60回富山県中学生海の絵画コンクール 特別賞

■第72回書の光書道展 富山市長賞 書の光賞